

## 【ワイヤー矯正の副作用とリスクについて】

### 【矯正装置が直接的な原因となる場合】

- ① 矯正装置を装着した直後や、ワイヤーを交換した直後に、痛みが生じる場合がありますが、大半は数日でおさまります。冷たいものを飲んだ時にしみる「知覚過敏」の症状が出る場合がありますが、数日で改善されます。長期間症状がおさまらない場合は、歯科医師にご相談ください。
- ② 矯正装置を装着している間、舌がスムーズに動きにくかったり、発音しづらかったりする場合がありますが、通常、数カ月で慣れます。

### 【金属アレルギー】

- ① 矯正装置には金属素材が使用されていることが多いため、金属アレルギーのある方、金属アレルギーの不安がある方は、皮膚科でパッチテストなどを受けて、アレルギー源を特定し、歯科医師に伝えてください。また、矯正装置を装着後、皮膚や口腔の粘膜にアレルギー症状が起きた場合は、すみやかに歯科医師にご連絡ください。またセラミック素材を使った方法もありますのでご相談下さい

### 【抜歯・麻酔】

- ① 矯正をしたい箇所十分なスペースがない場合、健康上問題のない歯を抜歯することもあります。その場合、抜歯前に医師より治療についての説明をします。

### 【むし歯・歯周病】

- ① 矯正治療中は、矯正装置の周りなど、歯磨きがしにくい部分ができるため、むし歯や歯周病のリスクが高くなります。歯科医師よりブラッシング指導を受け、丁寧に歯磨きをする習慣を身につけましょう。歯科医院での、歯のクリーニングやフッ素塗布などのケアも効果的です。

### 【治療終了後】

- ① 矯正治療終了後、矯正箇所が元に戻る場合があります。後戻りを回避するため保定期間を患者様ごとに設けています。平均で1年から2年ですが、通常取り外し可能な保定装置を使っただけで事となります。後戻りがないか、矯正治療終了後も専門医の検診を受けてください。

## [その他]

- ① 矯正治療は、治療の経過および治療後の見た目に個人差が大きく現れるのが特徴です。また、歯科医師との見解の相違が起こる場合もあるので、歯科医師としっかり話し合うようにしてください。
- ② 歯や骨の状態、むし歯や歯周病の発生などによって、当初の治療計画よりも治療期間が長くなる場合があります。
- ③ 治療中は一時的に固いものが噛めなくなることがあります。また、ガムや餅など、装置に引っかかりやすいものが食べられなくなることがあります。
- ④ 装置が壊れる場合があります。その際は、歯科医師にご相談ください。